

産業振興アクションプラン（平成28～32年度）の進捗状況（平成28年10月末現在）

ビジョンの重点方向・重点取組		後期アクションプランの施策	主な取り組み状況
成長を目指す事業者の活力向上	① 事業活動の価値向上	◎付加価値の高い事業を生み出す取組の促進 ○事業者の環境配慮に関する取組の促進	(1) 市内事業者の事業活動への支援の充実 (2) 産業活性化や高付加価値化等につながる事業者主体の取組の促進 (3) 設備等の環境対応促進と環境産業関連情報の提供
	② 創造的機能の集積と企業立地の促進	◎事業活動における創造的機能の集積促進 ◎企業活動への支援と立地促進	(1) 創造的機能の強化に向けた取組の充実 (2) 市内事業者に対する操業継続の支援 (3) 企業立地の促進への支援
	③ 起業の促進と成長支援	◎新規開業者の創業促進と成長支援	(1) 起業・創業に触れる機会づくり (2) 起業・創業の支援の充実 (3) 起業後のフォローアップの充実
			★産業活性化プロジェクト促進事業 提案公募型補助金の申請状況 申請1件、うち採択1件 茨木ヴィンテージカーショー(認知度向上事業)
			★産学連携スタートアップ支援事業 提案公募型補助金の申請状況 申請6件、うち採択4件
			★企業への訪問 目標：100件/年 実績：48件(H28.10末現在)
			★立命館大学への創業支援制度説明会 5月17日 ★追手門学院大学との意見交換 第1回 5月18日、第2回 7月7日 第3回 11月17日 【参加者】経営学部 教授・准教授、研究・社会連携課 課長・職員、ベンチャービジネス研究会 学生研究員 等 (内容) 市創業支援策についての意見交換と、学生ニーズの把握。今後は市の新規事業案についても意見交換予定。 ・学生向け 創業プラン作成体験セミナー ・学生ビジネスコンテスト入賞者支援事業 ・創業インターンシップ事業 など
			★学生向け創業セミナーの検討 「創業プラン作成体験セミナー」 平成29年8月予定(2回開催、各回3日間) 定員 学生20人、市内事業者4人 (内容) 大学生と市内事業者がグループとなり、アイデアソン・ハッカソン形式で創業プランを作成。創業に関心のある大学生に、より実際に近い創業の考え方を学ぶ機会を提供する。
			★女性向け創業セミナーの開催 「やりたいをカタチに！ 起業へのファースト・ステップセミナー」(女性対象) 一回目 12月1日、8日 定員:20名 二回目 2月26日、3月5日 定員:20名 (内容) ・起業とは？ ・やりたいことを考えよう！ ・先輩女性起業家の話を聞こう！ ・わいわい意見交換・交流 (次年度予定) ファースト・ステップセミナー(起業への入門編) ステップアップセミナー(ファーストステップの発展編)
			★その他 ≪創業ネットワークによる創業支援≫ 創業相談者数 187人 / 創業実現者数 37人 ≪フォローアップ≫ 経営アドバイザーによる巡回 10件

ビジョンの重点方向・重点取組		後期アクションプランの施策	主な取り組み状況	
市民の快適な暮らしや地域社会を支える機能	④ まちの にぎわい創出	◎魅力ある個店の創出促進 ◎人を呼び込む仕掛けづくり ○市内産業の情報発信の強化	(1) 商店の魅力アップ支援 (2) 人が集まり、滞留する仕掛けづくり	★集客性・回遊性のある食に関するイベントの実施 11月1～30日 茨木おいもスイーツフェア(主催) 11月18～19日 バルフェスタいばらき(後援)
	⑤ 地域の生活支援と 快適性の向上	◎生活支援サービスの提供支援 ○快適性を高める環境の整備	(1) 商店街等による生活支援サービスの取組支援 (2) 商店街等における生活利便施設等の整備支援	★商店街へのヒアリング (目標) 平成28年度中に全商店街(21件)訪問 平成28年6月～ 14件訪問 平成28年7月 茨木市商業団体連合会ヒアリング (内容) 現状の取組、課題、空き店舗の状況 等 ・入会率が低下している会、活動が活発でない会が多い。 新規出店者が自店に手一杯で活動に参加できない 古くからの事業者が決定権を持っている 等の課題 ・若い会長や役員が活発に活動している会もある。 ・商店街ごとの意識は、「現状のままでよい」という会と「もっと盛り上げたい」という会に分かれる。
	⑥ 地元農産物の 流通の促進	◎販売機会の拡充支援 ○農商連携の推進 ○農産物の安全性の向上支援	(1) 消費者と生産者の交流の促進 (2) 農商工連携の促進	★農商連携交流会の検討 平成29年度実施(年間3回)予定 (対象) ・新たな販路を求めている農業者 ・地元農産物の利用意向のある飲食店経営者等 (内容) 農業者と事業者の出会いの場を設定することで、事業者同士の情報交流や連携を促進し、地元産農産物の活用促進につなげる。
産業を活性化させる基盤づくり	⑦ 連携の促進	◎産業に関わる交流機会の創出 ○市内産業を知る機会の拡充	(1) 連携を生み、育てるための仕組みの整備・強化 (2) 産学連携に取り組みやすい環境づくり	★産学連携交流サロンの開催 第1回 10月13日 参加者数:24名※ 第2回 11月30日 第3回 1月～2月 開催予定 ※大学14名、事業所5名、その他5名 (内容) セミナー講演、交流会 市内大学を中心に研究シーズ集を作成 (次年度) 2回もしくは3回/年 開催予定
	⑧ 人材の確保と育成	○就労希望者と企業との接点拡大 ○企業OB人材の活用 ○企業の成長を支える人材育成の支援	(1) 事業者・人材のコーディネート機能の強化 (2) 職業能力の向上にむけた支援 (3) 働きやすい職場づくりの促進 (4) 市内事業者の人材育成への支援	★中小企業人材育成支援事業の補助対象拡充 H28.7 「大学、大学院、短期大学」が行う研修を追加 (立命館大学に制度チラシの設置を依頼) H29.4 海外展開支援機関(※)が行う研修を追加 ※ 中小企業基盤整備機構、日本貿易振興機構 等 (参考)補助申請状況 H26 1企業 延べ9人 H27 0企業 H28 3企業、延べ19人(10月末時点)
	⑨ 支援機能の充実	◎利用者の視点に立った産業支援関連情報の提供 ◎専門的支援機能の充実と相談機能の強化	(1) 産業支援関連情報の各媒体による提供 (2) 市の産業支援機能の強化と関係機関の連携強化	